

シリーズ② おいどんがふるさと 神子区

さつま町内の20区公民館が取り組んでいる特色ある活動、イベントなどを紹介しています。



館長 有村 正剛さん

神子は、さつま町の市街地から北の方向へ約8キロメートルの位置にあります。

春には、町並みや鶴田ダムの桜とダムへの町道沿いのしだれ桜、夏は平江キャンプ場でのキャンプや水遊び、秋は各公民会毎の運動会、冬はダムジョギング大会が開催され、四季を通じて楽しめます。

毎年開催されている、奥薩摩のホタル舟や龍舟祭などのイベントなどに、区民が積極的に参加・協力することが神子区の誇りです。



◆人口 1,293人、世帯数 477世帯、公民会数 10公民会

文化財



「稲留神社」は、昔から農業の神と商売繁盛の神として、区民から拝められています。

また、6月灯などいろいろな行事もこの神社で行われます。

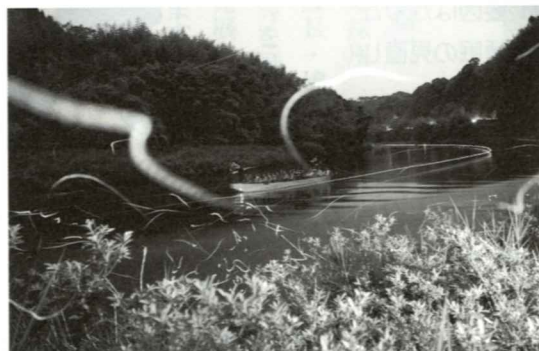
景勝地



あび〜る館の下流にある「神子轟の瀬」は、川内川の増水時に滝のように流れることで有名です。

その流れ落ちる様子はとても雄大で美しく、写真撮影にはおすすめのスポットです。

イベント



毎年5月に運航される奥薩摩のホタル舟には、県内外からたくさんの方々が乗船されます。乗船者は、ゆったりと時の流れを感じながら、幻想的なホタルの乱舞を楽しみます。

また、沿岸に住む住民は運航期間中、自宅の電気を消すなどしてイベントをサポートしています。

地域活動



毎年8月に行われる水辺の楽校鶴田龍舟祭には、町内外から約90チームが参加して大いに盛り上がります。

そのイベントを地域でも盛り上げようと、大会前に約200人が参加して清掃作業を行うなど地域が一体となった活動が積極的に行われています。